

大橋孝前町長、勇退

誰もが輝くまち、養老を目指した3期12年

大橋孝前町長は、平成22年11月の町長選挙で初当選し、同年12月15日に第6代町長に就任されました。以来、3期12年にわたり町行政のトップとしての責を担われてきました。

この間、公共交通網や防災拠点、農業基盤の整備、教育・子育て支援の充実、地域の活性化など、町民が主役である町政の実現のために「町民主導」「公平公正」を信条に、「養老が一番」を掲げ、まちづくりを推し進められました。昨年の第一回養老町議会定例会の最終日に勇退を表明され、

多くの人たちに惜しまれながら令和4年12月14日に退任されました。

大橋前町長は、昭和44年4月に岐阜県地方務局に奉職され、昭和53年3月まで9年間従事されました。同年4月に大橋今右衛門商店（現・株式会社大橋今右衛門）へ入社し、平成元年1月には代表取締役へ就任されました。

その後は、民間出身の町長として、新しい発創で施策や事業を展開し、養老改元1300年祭の開催、オンデマンドバスの導入、子どもの医療費の無償化を18歳まで拡充、小・中学校へのタブレット端末の導入、地域自治町民会議の設立を推進するなど、町民のため、養老のためのまちづくりに尽力されました。

また、令和3年には「養老町まちづくりビジョン」を策定し、基本理念に「人と地域を結ぶまちづくり」を、将来像に「人があつまり楽しく生きがいのあるまち」を掲げ、人があつまり、人と人とがふれあい、地域に活気が満ちる、持続可能なまちづくりの実現のための指針としました。



12年間のまらのあゆみ

- 平成22年11月◆大橋町長初当選
- 平成24年6月◆11月17日を「養老の日」と制定
- 9月◆ぎふ清流国体軟式野球・サッカー競技大会開催
- 平成24年11月◆養老改元1300年祭プレイベント開催
- ◆オンデマンドバス試運行開始
- 平成25年11月◆オンデマンドバス本運行開始
- 平成26年11月◆町制施行60周年記念式典挙行
- 平成27年3月◆町消防本部高機能消防指令センター運用開始
- 4月◆養老町初の地域自治町民会議設立
- 平成29年3月◆養老改元1300年祭開幕
- ◆養老町特産ブランド認証開始
- 平成29年5月◆全日本愛瓢会展示会開催 秋篠宮殿下来町
- 10月◆腕組み乾杯ギネス世界記録達成
- ◆東海環状自動車道 養老JCTから養老IC間開通
- ◆養老改元フェスタ開催
- 11月◆まるごと肉まつり養老開催
- 平成29年12月◆養老改元1300年祭開幕
- ◆ふるさと納税年間寄附金額1億円突破(平成29年度)
- 平成30年6月◆名神高速道路・養老S.A.SマートIC開通
- 令和2年2月◆新型コロナウイルス感染症対策本部設置
- 令和3年2月◆養老町まちづくりビジョン策定
- ◆小・中学校へのタブレット端末の導入
- 4月◆子どもの医療費の無償化を18歳まで拡充
- 10月◆スマホアプリ「養老Pay」運用開始
- 12月◆ふるさと納税年間寄附金額10億円突破(令和3年度)
- 令和4年3月◆大巻地内に防災ステーション完成
- 4月◆養老駅観光インフォメーション開設
- 9月◆テレワーク施設「YOROFICE」開設

養老改元1300年祭 開催期間